

第 4 1 期 事 業 報 告

令和 3 年 4 月 1 日から

令和 4 年 3 月 31 日まで

岩手県空港ターミナルビル株式会社

事業報告書

I 事業の概況

1 経営環境及び業界の状況

令和3年度の我が国経済は、上期は新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言などにより経済活動が抑制され、下期はやや明るさが見えたものの、年明け以降にオミクロン株を主因として感染が急拡大したことなどから、下押し圧力が強まるなど一進一退となりました。

県内経済は、住宅投資の増加基調が継続し、雇用情勢も有効求人倍率が堅調に推移したものの、生産活動が一進一退の動きとなりました。また、個人消費も下期を中心に軟調なものとなり、全体として持ち直しの動きが見られましたが、徐々にその動きが弱まる展開となりました。

令和3年における全国の空港利用者数（速報値）は、需要回復の兆しはあったものの全国での緊急事態宣言などにより総じて低調に推移し、9,314万人と前年比20.4%減となりました。

また、感染拡大防止策の一環として国をまたぐ往来が制限されたことから、令和3年の訪日外国人旅行客数も、25万人と前年比94.0%の大幅な減少となりました。

2 いわて花巻空港の利用状況

令和3年度における「いわて花巻空港」の国内定期便（含臨時便）は、年間利用者数が前年度より45.7%（64,351人）増の205,015人で、利用率は40.2%（前年度比1.7ポイント減）となりました。

国内の新型コロナウイルスの感染状況や、緊急事態宣言などにより空港利用者数も増減し、感染状況が一時落ち着いた令和3年10月以降は順調に需要回復を見せたものの、年明け以降はオミクロン株の急拡大により需要に歯止めが掛かる状況となりました。

3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により、東北新幹線が一時運転を見合わせたことから、羽田便が臨時運航され4,594人の利用実績となりました。

国内5路線目として新たに就航した神戸便については、令和3年度において17,114人の利用実績となり、今後の同ウイルスの収束に合わせて利用の増加が期待されるところです。

国際定期便においても同ウイルスの影響で渡航制限が実施され、上海便が令和2年2月から、台北便も同年3月からの運航休止が継続されており、実績はありませんでした。

また、国内チャーター便は、前年度より2便増加し18便が運航されました。

(1) 国内定期便の状況（含臨時便）

路 線	乗降客数		提供座席数		利用率
	人 数	前年度比	座席数	前年度比	
大 阪	58,068 人	122.3%	133,817	133.6%	43.4 %
札 幌	32,903 人	135.1%	76,361	124.4%	43.1 %
名 古 屋	73,210 人	129.8%	193,560	133.3%	37.8 %
福 岡	19,115 人	191.6%	53,124	211.8%	36.0 %
神 戸	17,114 人	4026.8%	47,436	7058.9%	36.1 %
関空（臨時）	11 人	—	76	—	14.5 %
羽田（臨時）	4,594 人	229.4%	5,320	175.0%	86.4 %
計	205,015 人	145.7%	509,694	151.9%	40.2 %

(2) 国際定期便の状況

台北便、上海便は全便運休

(3) チャーター便の状況

（便数は片道ベース）

区 分	便 数	乗降客数	前年度比		備 考
国 際 線	0 便	0 人	増減なし	増減なし	
国 内 線	18 便	839 人	2 便増	15 人増	運航先は下記※
計	18 便	839 人	2 便増	15 人増	

※南紀白浜、岡山、出雲、松山、熊本、鹿児島、種子島

3 事業の成果及びその経過

当期の事業収支は、営業収益が 286,148 千円（前期比 1.5%減）、営業費用が 279,401 千円（同 0.7%増）で、営業利益は 6,747 千円（同 48.3%減）となりました。

これに営業外損益を加えた経常利益は 12,561 千円（同 42.7%減）で、退職給付引当金戻入等の特別利益と、PBB 更新に伴う固定資産除却損等の特別損失を加え、法人税等を差し引いた当期純利益は 14,745 千円（同 208.0%増）となりました。

営業収益減少の主な要因としては、テナント賃料の減免による施設賃貸収入の減少、電照広告等掲出中止等による広告料収入減少などが挙げられます。

一方、営業費用増加の主な要因としては、単価上昇に伴う水道光熱費の増加や、退職者発生による退職金の増加などが挙げられます。

なお、当期における岩手県からの財政的関与としては、花巻空港保安対策費補助金として 3,594 千円、受託業務収入として県産米サンプル配布等業務委託料 1,000 千円、岩手県物産展示場の管理業務委託料 230 千円、合わせて 3 事業 4,824 千円の資金を受け入れました。

収支の状況

科 目	金 額	増減率
施設賃貸収入	220,732 千円	△1.4 %
商品売上高	20,805 千円	△4.2 %
広告料収入	10,536 千円	△11.2 %
給油施設収入	26,899 千円	0 %
国際線施設収入	－ 千円	－ %
委託業務収入	－ 千円	－ %
その他収入	7,176 千円	28.4 %
計	286,148 千円	△1.5 %
売上原価	15,019 千円	△6.4 %
販売費及び一般管理費	264,382 千円	1.2 %
計	279,401 千円	0.7 %

4 今後の見通しとその対応

当空港は、令和 3 年 3 月 28 日から国内定期便として新たに神戸便が就航したことにより、国内線は計 5 路線となり、運航便数は過去最大の 1 日 13 往復（26 便）となっております。

令和 4 年 4 月現在、国際定期便の運航再開の目途はたっていないものの、今後のコロナ禍からの事態収束に向けて、本県唯一の空の玄関口として県民の利便性向上をはじめ、企業活動の活発化や観光の振興、地域間交流の拡大等、大きな役割を担っていく必要があります。

今後も、日本スポーツマスターズ（2022 年）、全国植樹祭（2023 年）など大規模イベントの本県開催が予定されているほか、ハロウィンターナショナルス

クール安比ジャパンの開校（2022年）、キオクシアの2棟目の工場稼働（2023年）、ILC（国際リニアコライダー）の誘致実現などにより、利用者数の増加が期待されているところです。

このため、当社では、こうした環境変化に的確に対応できるよう、関係機関と一層の連携の下、次の重点事項について積極的に取り組んでまいります。

【重点取組項目】

- 1 安全・安心を守る業務運営
災害や事故への対応力の向上、定期的な社員研修による空港保安意識の徹底等
- 2 お客様に満足いただける魅力ある空港づくり
空港に関わる情報提供の充実による利便性の向上、快適に過ごせる空間づくり、CO2削減など環境保全への取り組み推進
- 3 地域とともに発展する空港づくり
空港独自のイベントや催事の開催、情報発信強化による知名度の向上、地域と空港の交流促進等
- 4 業務品質向上と経営基盤の強化
業務のIT化等による業務品質向上と収益の拡大による経営基盤の強化

当社は、こうした取組みを通じて、「お客様から親しまれ、信頼され、満足いただけるターミナルビルづくり」に、役職員一同努めてまいります。

5 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第 37 期 平成 29 年度	第 38 期 平成 30 年度	第 39 期 令和元年度	第 40 期 令和 2 年度	第 41 期 令和 3 年度
営業収益	369,063	381,872	391,485	290,384	286,148
当期純利益	33,660	36,047	37,671	4,787	14,745
1 株当たり 当期純利益	990 円	1,060 円	1,108 円	141 円	434 円
総 資 産	1,374,558	1,249,976	1,264,161	1,262,636	1,244,808

II 会社の現況

1 主要な事業内容

- (1) 空港ターミナルビルの賃貸及び運営管理
- (2) 航空旅客、航空貨物及び航空事業者に対する役務の提供
- (3) 飲食物、旅行用日用雑貨及び観光土産品の販売業
- (4) 広告業及び宣伝並びに広告代理店業

2 事業所（本社所在地）

岩手県花巻市東宮野目第二地割 53 番地

3 株式の状況

- (1) 会社の発行可能株式総数 136,000 株
- (2) 期末現在発行済株式総数 34,000 株
- (3) 期末現在株主総数 11 名
- (4) 大株主

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率	当社当該株主への出資状況	
			持 株 数	議 決 権 比 率
	株	%	株	%
岩 手 県	10,000	29.4	—	—
日本航空株式会社	10,000	29.4	600	0
花 巻 市	4,000	11.8	—	—
盛 岡 市	2,500	7.4	—	—
株式会社岩手銀行	1,500	4.4	0	0
株式会社日本政策投資銀行	1,500	4.4	0	0
日本通運株式会社	1,200	3.5	0	0

4 取締役及び監査役

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	高橋 宏 弥	常 勤
取 締 役	田 中 隆 司	岩手県 県土整備部長
取 締 役	奥 野 俊 介	日本航空株式会社 東北支社岩手営業所長
取 締 役	上 田 東 一	花巻市長
取 締 役	谷 藤 裕 明	盛岡市長
取 締 役	浜 島 和 利	日本通運株式会社 常務執行役員
取 締 役	石 崎 徹	常勤 総務部長
取 締 役	高 橋 達 也	岩手県盛岡広域振興局 局長
監 査 役	佐 藤 求	株式会社岩手銀行 取締役専務執行役員
監 査 役	渡 辺 秀 幸	株式会社日本政策投資銀行 東北支店次長

(注) 当期中の取締役の異動

- 1 取締役 赤間 立也氏が令和3年3月31日付をもって辞任しました。
- 2 取締役 田中 剛一氏が令和3年6月25日付をもって辞任し、同日開催の第40回定時株主総会決議により、取締役に奥野 俊介氏(新任)、浜島 和利氏(新任)が選任され、就任しました。
- 3 取締役 中平 善伸氏が令和3年7月7日付をもって辞任し、令和3年8月11日臨時株主総会決議により、取締役に田中 隆司氏(新任)が選任され、就任しました。
- 4 令和4年3月30日開催の臨時株主総会決議により、取締役に高橋 達也氏が選任され、就任しました。

5 従業員の状況

(令和4年3月31日現在)

区 分	従業員数	対前年比較	平均年齢	平均勤続年数
男	9名	0名	53.7歳	8.1年
女	7名	0名	38.6歳	15.6年
合計又は平均	16名	0名	47.1歳	11.4年

6 主要な借入先及び借入金額

(令和4年3月31日現在)

借 入 先	借 入 金 残 高
株式会社 岩 手 銀 行	4,250,000円
株式会社 北 日 本 銀 行	2,600,000円
株式会社 東 北 銀 行	1,700,000円
計	8,550,000円